

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）  
音阿弥生誕六二〇年

# 京都観世会九月例会〈其の二〉

平成30年9月23日（日）午前11時開演（午前10時開場）



主催 公益社団法人 京都観世会



〈能〉

玄象

玄祥改メ  
初能之式

梅若実

〈狂言〉

栗焼

善竹忠一郎

〈能〉

半部

林宗一郎

〈能〉

雷電

橋本忠樹  
替装束

## 会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44  
(東山仁王門東入)

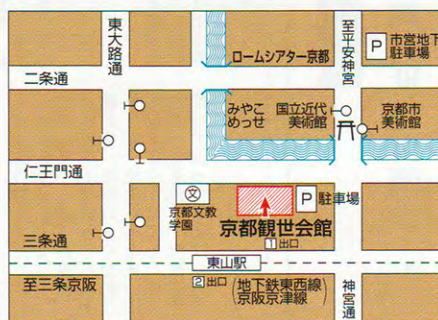
お問合せ・お申込み ☎ 075-771-6114

WEBサイトの公演情報からご予約ができます  
<http://www.kyoto-kanze.jp>

チケットぴあでのご購入ができます  
Pコード：482-846

前売券 (1階当日指定席) 6,000円  
当日券 (1階当日指定席) 6,500円  
学生券 (2階自由席) 3,000円

### 京都観世会館案内図



◆京都観世会館へは  
JR 京都駅から——  
市バス[5] 100で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車  
(乗車時間約30分)  
地下鉄丸太町駅で東西線乗り換え  
「東山駅」下車 (乗車時間約20分)  
阪急河原町駅から——  
市バス[31] 46 201 202 203 206で  
「東山仁王門」下車 (乗車時間約15分)  
京阪三条駅から——  
市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車  
(乗車時間約1分)  
地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約1分)  
JR 二条駅から——  
地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)  
山科・醍醐方面から——  
地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9～17分)  
地下鉄東西線「東山駅」から——  
徒歩約5分

◆東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

# 京都観世会九月例会(其二)

(能)

師長 井上裕久  
姥田茂井廣道  
龍神 大江信行

玄象  
村上天皇 梅若 実  
初能之式

從者 中村宜成 大鼓 山本哲也 太鼓 前川光長  
從者 福王和幸 小鼓 大倉源次郎 笛 藤田六郎兵衛  
從者 喜多雅人

間

師長ノ從者 善竹隆司

栗焼

太郎冠者 善竹忠一郎 主 善竹隆司

休憩二十分

(二時三十分頃)

半蔀  
里女 林 宗一郎  
夕顔女

僧 江崎正左衛門 大鼓 谷口正壽  
小鼓 竹村英雄 笛 杉 市和  
所ノ者 善竹隆平

(能)

休憩十五分

錦木クセ (仕舞)  
鐘之段 浦田保親  
項羽 河村和重  
橋本光史

(能)

雷電  
普承相 橋本忠樹 從僧 岡 充  
替裝束 延慶寺 聖三 小林 努  
從僧 原 陸 小鼓 曾和鼓堂 太鼓 井上敬介  
間 能方 上吉川 徹

大鼓 石井保彦 太鼓 井上敬介  
小鼓 曾和鼓堂 笛 森田保美

附祝言

(終了予定 四時三十分頃)

## 後見・地謡

(後見) 橋本擴三郎  
片山九郎右衛門

河村浩太郎 古橋正邦  
大江泰正 河村和重  
梅田嘉宏 大江又三郎  
吉田篤史 浦田保浩

(後見) 上西良介

(後見) 河村浩太郎  
橋本雅夫

樹下千慧 浦部幸裕  
河村和晃 味方玄  
宮本茂樹 河村晴道  
松野浩行 片山伸吾

(後見) 橋本光史  
青木道喜

浦田親良 味方團  
大江広祐 吉浪壽晃  
河村和貴 分林道治  
深野貴彦 浅井通昭

## 解説

玄象初能之式

時の太政大臣が、琵琶の名手藤原師長が、唐に渡つて琵琶の奥儀を究めようとして、從者をして都を出て、須磨の浦へとやってくる。老人夫婦の塩屋に一夜の宿を借り、主人の所望のままに師長が一曲彈じると、にわかには師長が降り来ると、老夫婦は苦で板屋を葺き、これで雨音と琵琶の音が同じ調子になりましてと言ふ。師長はこの老夫婦が音楽を心得ていると見て一曲を所望する。すると老翁は琵琶が無くして、渡唐を思い立ち去ろうとする。老夫婦はこれを引き留め、実は自分達には現れた村上天皇と梨壺女御の靈であると言つて消え失せる。

(中人)

やがて村上天皇の靈が現れ、海中の龍神に命じて、龍宮に持ち去られた琵琶「獅子丸」を取り寄せ、これを師長に授けて秘曲を伝え、飛行の興に乗じて舞を舞い、飛行の

車に乗つて昇天する。師長も琵琶をたずさえて都へと帰る。

半蔀

紫野雲林院に住む僧が、夏の閑仏前に供えていた花を供養している時、どこからともなく一人の若い女が現れ、白い夕顔の花を供える。僧がその名前を尋ねると、生前に五条辺りに住んでいた亡者であると答えて、花の蔭へと消え失せる。

(中人)

僧は所の者から光源氏と夕顔という女の恋物語を聞き、勤めにしたがって五条辺りに生い茂った家があり、中から女の音が聞こえてくる。僧が姿を見せるように言ふと、夕顔の靈が半蔀を押し上げて昔の姿で現れる。夕顔は光源氏との馴れ初めを物語り、思ひ出の舞を舞う。そして明け方近づくとまた半蔀の中へと消えて行くのだった。

(中人)

宮中紫宸殿に坐して祈念する法性坊が油断したスキに、雷神となつた道真が現れ、師のいる所を避けつつも稲妻を轟かせ、天皇の身をも危うくするが、法性坊の必死の千手陀羅尼に屈し、帝より天神と名を賜り、黒雲にうち乗つて去つてゆく。

## お客様へお願い

- ◆特別会員席以外の座席券は、当日午前10時より先着順にお引換えいたします。
- ◆開演中のお出入りはなるべくご遠慮ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆予告なく演目や出演者が変更となる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆車でお越しのお客様には、会館東隣に有料駐車場がございます。また満車の際には岡崎公園市営地下駐車場もご利用いただけますが、近隣の催し等により、混み合う場合もございますので、ご来館はなるべく公共の交通機関をご利用ください。

## 【表紙写真】

(玄象) 杉浦豊彦

金の星渡辺写真場撮影

## 次回予告

### 京都観世会11例会

平成30年11月25日(日)

午前11時開演

(能) 敦盛

田茂井 廣道

(狂言) 千鳥

茂山 千五郎

(能) 富士太鼓

河村 博重

(能) 大会

宮本 茂樹